

## 一般演題9-4

### タブレット端末を用いた高気圧酸素治療導入患者への事前説明の紹介

田島行雄<sup>1)</sup> 金田智子<sup>1)</sup> 曾我 仁<sup>1)</sup>

堀健二郎<sup>1)</sup> 齋藤 繁<sup>2)</sup> 近松一朗<sup>1)</sup>

- 1) 群馬大学医学部附属病院 MEサブライセンター
- 2) 群馬大学医学部附属病院 麻酔科蘇生科

#### 【はじめに】

当院では、高気圧酸素治療（以下、Hyperbaric oxygen therapy :HBOと略す。）を行う患者に対し、医師が外来にてHBOの効果・治療上の注意点等を説明している。その後、臨床工学技士が高気圧酸素治療室にて治療における加圧・保圧・減圧、及び耳抜き方法と持込品等についての説明を行っている。近年、タブレット端末を医療業務に積極的に活用しようとする事例が増えてきている。これらを背景とし、文章のみで説明していた資料からタブレット端末を用いて画像を取入れた説明資料に変更した。

#### 【目的】

今回、この説明資料を紹介するとともに、期待される効果について検討を行ったので報告する。

#### 【新旧資料の変更点】

旧資料は、A4用紙1枚にHBOに要する時間・加圧時の注意点・耳抜き方法・保圧時の過ごし方・減圧時の注意点を文章のみで記載しており、この資料を患者に提供する形で説明していた。持込禁止品等については、資料への記載は無く口頭で説明していた。新資料作成するに当たり、①写真を積極的に取り入れる、②高気圧酸素治療手順を入れる、③説明項目を細分化することに重点を置いて作成した。取り入れた写真は高気圧酸素治療室への入室方法、第二種タンク内の入室方法、マスクの装着方法等とした。(図1)治療手順は、全体の治療手順と、それに加圧・保圧・減圧の手順を分けて記載した。(図2)説明項目については、大分類、中分類、小分類と分類分けした。患者には新資料をタブレット端末上で説明を行い、説明終了後に要約した資料を印刷して渡すこととした。

#### 【予想される効果】

HBO中に患者自身が行うこと及び、治療中において

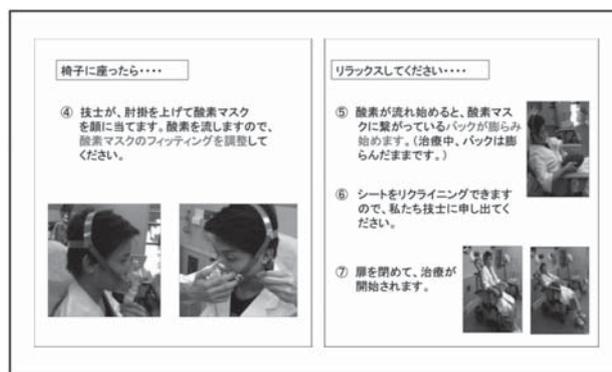


図1 写真取入れ資料の一例

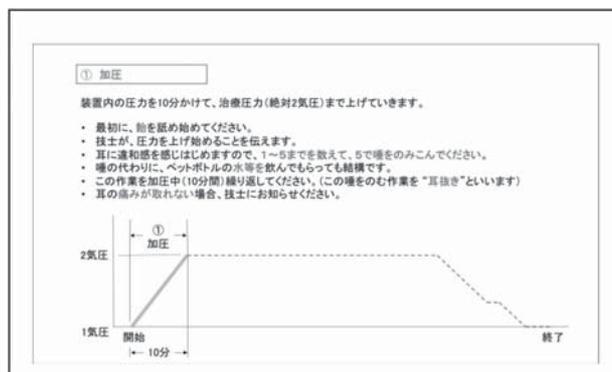


図2 加圧の治療手順

患者が実施可能なことの写真を取り入れた事で、HBOに対する不安が軽減されると思われる。また、治療手順の記載によりHBO中の圧力変化がイメージしやすく、且つタブレット端末を用いることで圧力変化の詳細な説明を簡便に行うことができるとと思われる。説明項目の細分化については、技士の説明忘れを予防することができると思われる。

#### 【まとめ】

タブレット端末によるHBOの説明資料について報告した。今後は患者にアンケート等を実施し、説明資料による効果を検討していく予定である。